

令和3年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・社会人特別選抜）

入学試験問題（小論文）

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は 6 枚（表紙を除く）、解答紙は 2 枚。
- 3 設問Ⅰ、設問Ⅱの解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。

設問 I

次の文章は日本の教育行政改革のあり方について述べられたものの一部である。本文を読み、問（１）～（３）に答えなさい。

（１）著者が NPM に対して「机上の空論のような怪しさ」を感じているのはなぜか。「評価」の言葉を用いて、100 字程度で述べよ。

（２）文中の下線部について、200 字程度で例を挙げよ。

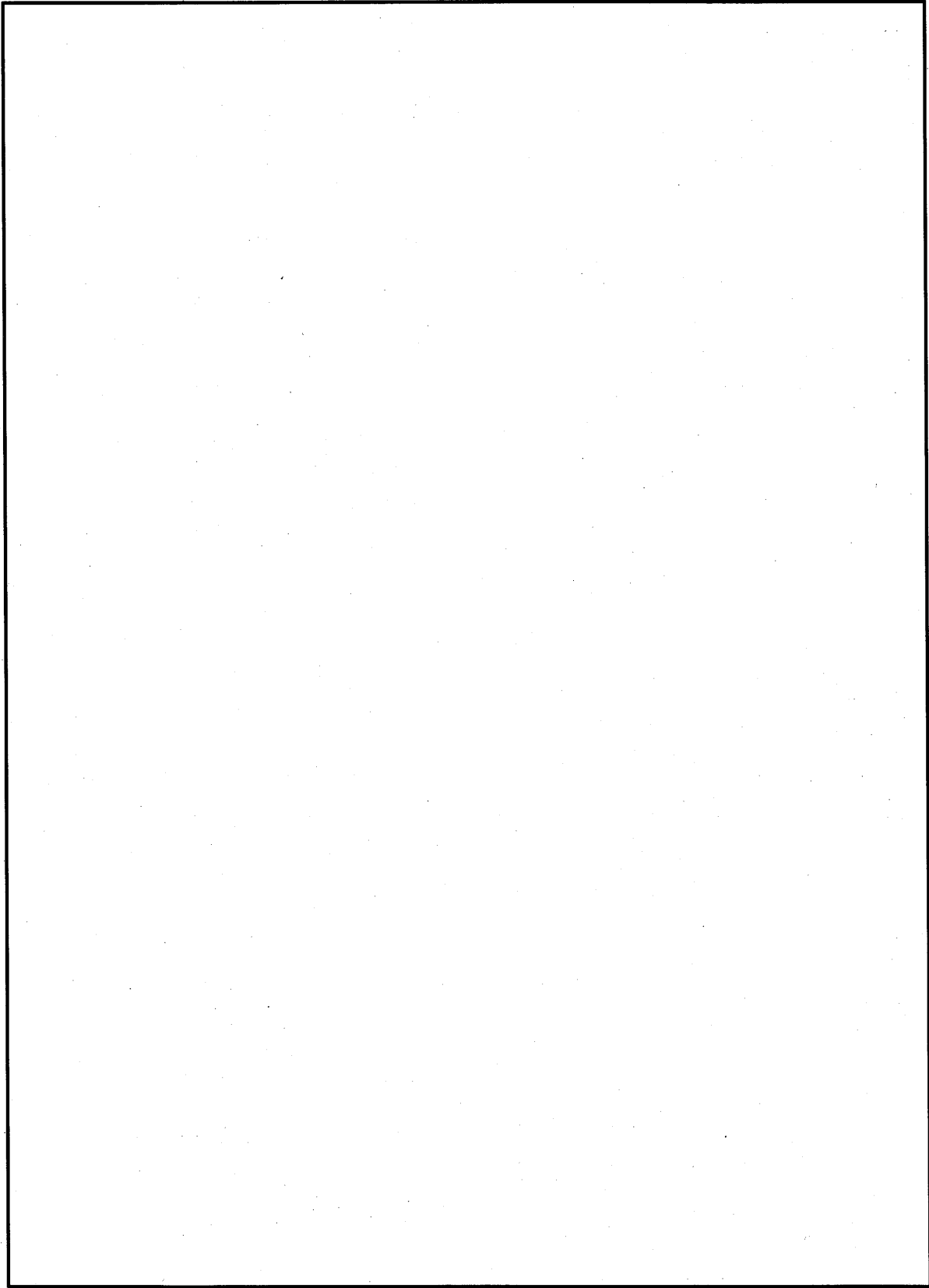
（３）社会人としての経験を踏まえ、評価に対するあなたの考えを述べよ。

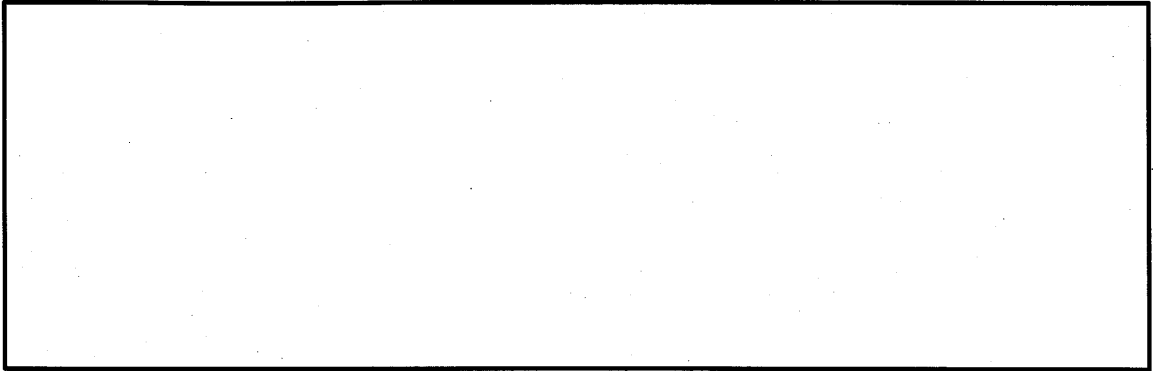
ここに下記文献の抜粋が入ります。

広田照幸著 『教育改革のやめ方ー考える教師、頼れる行政のための視点ー』
岩波書店、2019年、90-93頁、より一部改変

また、次の部分について下線を付してあります。

下線部 92頁の4行目～5行目「何かを…ためである。」





出典：広田照幸『教育改革のやめ方—考える教師、頼れる行政のための視点』岩波書店、
2019年より抜粋。一部改変。

設問Ⅱ

以下の資料は、全国 515 大学に在籍する学部 3 年生を対象に行われた「全国学生調査（試行実施）」（2019 文部科学省）の結果の一部である。本調査は、学生目線から大学教育や学びの実態を把握し、大学の教育改善や国の政策立案など、大学・国の双方において様々な用途に活用するために行われたものである。

(1) 資料から読み取れる大学生の現状について述べなさい。

(2) この結果から、大学の教育を改善していくために、大学や国はどのような取り組みが必要であると考えているか。(1)で読み取った内容をふまえ、あなたの考えを述べなさい。

【資料】令和元年度「全国学生調査（試行実施）」

概況

対象大学数	対象学部数	対象学生数	有効回答者数	有効回答率
515	1,689	407,014	111,051	27.3%

問1 大学に入ってから受けた授業では、次の項目はどれくらいありましたか。

	よくあった	ある程度あった	あまりなかった	ほとんどなかった
項目①：授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた。	24%	61%	13%	2%
項目②：理解がしやすいように教え方が工夫されていた。	20%	63%	15%	2%
項目③：教員以外の者（アシスタントなど）が配置されており、補助的な指導があった。	19%	35%	28%	18%
項目④：小テストやレポートなどの課題が出された。 ※期末テストは除く	47%	46%	6%	1%
項目⑤：適切なコメントが付されて課題などの提出物が返却された。	11%	32%	33%	24%
項目⑥：グループワークやディスカッションの機会があった。	28%	43%	22%	7%
項目⑦：教員から意見を求められたり、質疑応答の機会があった。	20%	51%	24%	5%
項目⑧：主に英語で行われる授業（語学科目は除く）があった。	11%	22%	24%	43%

問2 大学に入ってから次のような経験はありましたか、その経験は有用でしたか。

	非常に有用 だった	有用だった	あまり有用で はなかった	有用ではな かった	経験して いない
項目①：大学での勉強の方法（スタディ・スキル）を学ぶ科目	10%	39%	21%	5%	25%
項目②：研究室やゼミでの少人数教育	26%	43%	10%	3%	18%
項目③：（授業以外で）教員に質問したり、勉強の仕方を相談する機会	15%	42%	17%	4%	22%
項目④：キャリアに関する科目、キャリアカウンセリング（就職や進学相談）	15%	40%	16%	5%	24%
項目⑤：インターンシップ（5日以上に限る）	11%	12%	5%	2%	70%
項目⑥：海外留学（3か月以上に限る）	4%	4%	2%	1%	89%
項目⑦：（学内で）自分とは異なる国の学生との交流	9%	19%	7%	3%	62%
項目⑧：図書館やアクティブラーニングスペースなど大学施設を活用した学習	27%	46%	10%	3%	14%

問3 授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間

	0時間	1-5時間	6-10時間	11-15時間	16-20時間	20-25時間	31時間以上
項目①：授業（実験・実習含む）への出席	1%	9%	18%	23%	19%	14%	16%
項目②：予習・復習・課題など授業に関する学習	9%	58%	18%	7%	4%	2%	2%
項目③：授業以外の学習	20%	53%	14%	6%	3%	2%	2%
項目④：部活動/サークル活動	56%	25%	9%	5%	2%	1%	2%
項目⑤：アルバイト/定職	19%	13%	19%	20%	16%	8%	5%
項目⑥：就職に関わる活動	45%	41%	8%	3%	1%	1%	1%
項目⑦：趣味/娯楽/交友	2%	33%	28%	16%	8%	4%	9%
項目⑧：スマートフォンの使用 ※学習のために使用している時間は除く	1%	28%	23%	15%	11%	8%	14%

問4 次の知識や能力を身に付けるために、あなたが受けた大学教育は役に立っていると思いますか。

	とても役に立っている	役に立っている	あまり役に立っていない	役に立っていない
項目①：専門分野に関する知識・理解	35%	52%	11%	2%
項目②：将来の仕事に関連する知識・技能	30%	50%	16%	4%
項目③：文献・資料・データを収集・分析する力	22%	56%	19%	3%
項目④：論理的に文章を書く力	19%	51%	25%	5%
項目⑤：人に分かりやすく話す力	22%	51%	22%	5%
項目⑥：外国語を使う力	8%	22%	38%	32%
項目⑦：統計数理の知識・技能	10%	35%	36%	19%
項目⑧：問題を見つけ、解決方法を考える力	20%	55%	20%	5%
項目⑨：多様な人々と協働する力	29%	51%	15%	5%
項目⑩：幅広い知識、ものの見方	28%	55%	14%	3%
項目⑪：異なる文化に関する知識・理解	19%	40%	26%	15%

出典：文部科学省，令和元年度「全国学生調査（試行実施）」結果【資料編】をもとに作成
https://www.mext.go.jp/content/20200616-mxt_koutou01-000001987_05.pdf (2020.8.20 確認)

令和3年度 (第1期試験)

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜および社会人特別選抜および
外国人留学生特別選抜)

臨床心理学コース

入学試験問題 (専門科目)

注 意

1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は1枚(表紙を除く)、解答紙は5枚。
3. 解答は所定の用紙に記すこと(設問Ⅰ～設問Ⅲの解答は各1枚の解答紙を用いて、設問Ⅳの解答は2枚の解答紙を用いて、(1)～(4)を1枚目、(5)～(8)を2枚目に記入すること)。

……………臨床心理学コース……………

【設問Ⅰ】 障害のある人への職場における「合理的配慮」の考え方を述べなさい。
また、職場では具体的にどのような合理的配慮ができるか、「精神障害」
および「発達障害」について各々の例をあげて説明しなさい。

(20点)

【設問Ⅱ】 COVID-19感染拡大を受け、心理面接が、対面ではなくオンラインで
実施される機会が増加している。オンラインで心理面接を実施する際
に、留意すべき点について、3つあげて述べなさい。

(20点)

【設問Ⅲ】 薬物依存者の心理社会的問題や心理支援に関する重要な観点について
知るところを述べなさい。

(20点)

【設問Ⅳ】 以下の用語をそれぞれ5行程度で説明しなさい。

(各5点)

- (1) ストレスチェック制度
- (2) 措置入院
- (3) ハロー効果
- (4) 心理社会的モラトリアム
- (5) チーム学校
- (6) 境界性パーソナリティ障害
- (7) テストバッテリー
- (8) 第1種の過誤

(以下余白)